

「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に4年連続認定されました

森永乳業は、経済産業省と日本健康会議(※)が共同で選出する「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に4年連続認定されました。また、グループ会社の横浜森永乳業株式会社も中小規模法人部門にて認定されました。

※ 少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体



当社は、2023年に「森永乳業グループ ウェルビーイングステートメント」を発信し、「健康経営プログラム」を刷新しました。健康経営の推進にあたり健康経営戦略マップを作成し、健康課題を特定したうえで、その解決に向けた取り組みを実施しています。

解決に向けた大きなテーマとして、「生活習慣の改善」「健康診断の有効活用」「健康関連知識の向上」「組織・職場の環境改善」を掲げ、それぞれ目標を設定しています。

また、健康の基盤となる安全に業務を遂行できる環境づくりを確保することを定めた「安全衛生基本方針」を策定し、公開・周知しています。

【森永乳業グループ 健康経営プログラムの主な施策】

生活習慣病等発症予防のための取り組み

森永健康保険組合では、30歳以上を対象に人間ドックの受診費用補助を行っています。また、20歳代より罹患の可能性のある子宮頸がんについては、郵送検診を無料で受けられる制度も設けています。さらに森永乳業では、がん予防の観点より、50歳以上の人間ドックや婦人科系のがん検診に対して費用補助をしており、2020年にはがん専門医による「女性のがんを考える」社内講演会を実施しました。

健康診断データの連携とフォローアップ

産業保健スタッフ(産業医、保健師、看護師)や事業所健康管理責任者により、健康ハイリスク者管理を充実させ、2次検査の受診勧奨や保健指導を実施しています。また、口腔内の健康が全身の健康に影響することから、歯科健診の無料実施の拡大にも力を入れています。そのほか、特定保健指導受診者に対して「自社のサプリメント商品」を活用し、生活習慣改善をはかる取り組みも実施しています。

今後も、かがやく笑顔のため、健康経営を推進してまいります。